

研修目的

近年、新型コロナウイルス感染症などの新興・再興感染症の登場により、将来的な専門領域を問わず、感染症診療および感染対策は医師として不可欠な習得事項になっている。当科の研修では感染症診療・対策の基本的考え方を習得し、一般感染症のみでなく、新興・再興感染症に対しても適切な初期対応が可能になることを目的とする。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

- ・患者やその家族および院内医療従事者と良好なコミュニケーションを構築できる

B. 資質・能力

- ・感染症の診断・治療の基本を理解し実践できる
- ・医療関連感染を防止できる知識・技量を習得する（個人防護具の適切な着脱）
- ・Infection Control Team (ICT)、Antimicrobial Stewardship Team (AST)を通じてチーム医療の一員として活動できる

C. 基本的診療業務

- ・医療環境のラウンド（感染対策の観点から）
- ・抗菌薬選択への介入
- ・血液培養陽性例への介入
- ・病院内関連感染症（菌血症・敗血症、薬剤耐性菌感染症、日和見感染症など）への対応（コンサルテーション対応含む）
- ・感染に関わる委員会への参加（院内）

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

- ・行政を含めた地域内での医療関係者と良好なコミュニケーションを構築できる
- ・内科医としての一般的考え方の習得
- ・病院疫学の考え方の習得

B. 資質・能力

- ・新興・再興感染症への初期対応を習得する
- ・適切に培養検体を採取できる
- ・グラム染色や血液培養などの評価法を習得する
- ・薬剤耐性菌を想定した抗菌薬の選択方法を習得する
- ・アウトブレイクの端緒への気づきを習得する
- ・英語論文の作成

C. 基本的診療業務

- ・アウトブレイクへの対応
- ・院外紹介患者への対応

- ・感染に関わる委員会への参加
- ・ワクチン外来対応

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

研修期間中に、「習得できるアウトカム」および「研修医の意向により習得できるアウトカム」に関して、随時、口頭試問や観察により指導・フィードバックを行う

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	8:30～病棟・外来（一般 / ワクチン）研修、AST 活動	13:00～AST ミーティング 14:00～（第1のみ）AINIC ミーティング 14:30～（第3のみ）感染対策実務小委員会	15:00（第4のみ）～感染対策委員会
火	8:30～病棟・外来（一般 / ワクチン）研修、AST 活動	13:30～耐性菌ミーティング 14:00～ICT ラウンド（病棟）	
水	8:30～病棟・外来（一般 / ワクチン）研修、AST 活動		
木	8:30～病棟・外来（一般 / ワクチン）研修、AST 活動	13:00～AST ミーティング 15:00～ICT ラウンド（病棟以外）	
金	8:30～病棟・外来（一般 / ワクチン）研修、AST 活動		16:00～感染症内科・感染制御部合同ミーティング

- *AST 活動：無菌検体（血液、髄液、関節液など）培養陽性例、広域抗菌薬使用例に対する全例介入とその後のフォロー、デバイスサーベイランス
- *AST ミーティング：AST 活動の情報共有及び、介入・フォロー方針の検討
- *ICT ラウンド：医療関連感染防止のための病棟等のチェック
- *AINIC（Academia Intelligence Network for Infectious Diseases Prevention and Control）：全国13の感染症学講座を有する大学と web 形式でのカンファレンス
- *外来研修：主な疾患として梅毒、結核など問題となっている感染症の診断～治療

指導責任者および指導医

指導責任者

- ・遠藤史郎：感染症専門医・指導医、Infection Control Doctor、抗菌化学療法指導医、日本臨床微生物学会認定医、総合内科専門医、内科指導医、臨床研修指導医

指導医

- ・鈴木 潤：感染症専門医・指導医、Infection Control Doctor、総合内科専門医
内科指導医、臨床研修指導医
- ・今井 悠：感染症専門医、Infection Control Doctor、総合内科専門医
内科指導医、臨床研修指導医
- ・水野 友貴：日本旅行医学会認定医、内科専門医

学会発表・論文作成に対する指導体制

希望により学会での発表、論文作成は可能